

須坂市では現在、少子高齢化による生産年齢人口の減少、空き家の増加（2008年～2013年には850戸増）問題が起きている。空き家の増加は、雪の重みによる倒壊や放火による火災など、多くの危険が潜在している。また近年須坂市では外国人（特に若い世代）が増加（H31、6年連続増）し、全国的に見ても、訪日外国人は増加傾向（2019年、訪日外国人の人数は過去最高）にある。

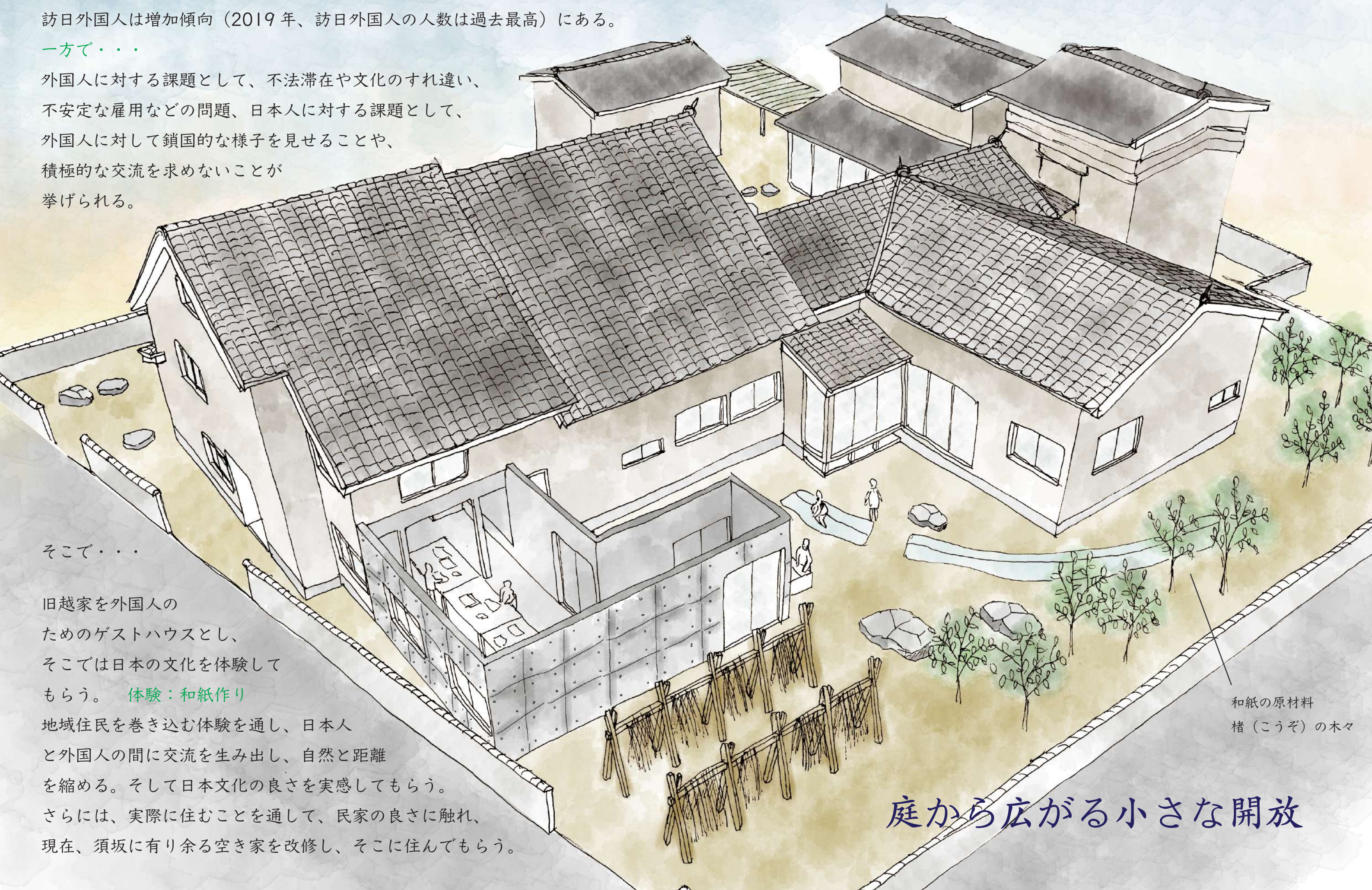
一方で・・・

外国人に対する課題として、不法滞在や文化のすれ違い、不安定な雇用などの問題、日本人に対する課題として、外国人に対して鎖国的な様子を見せることや、積極的な交流を求めないことが挙げられる。

そこで・・・

旧越家を外国人のためのゲストハウスとし、そこでは日本の文化を体験してもらう。 **体験：和紙作り**

地域住民を巻き込む体験を通し、日本人と外国人の間に交流を生み出し、自然と距離を縮める。そして日本文化の良さを実感してもらう。さらには、実際に住むことを通して、民家の良さに触れ、現在、須坂に有り余る空き家を改修し、そこに住んでもらう。



和紙の原材料
楮（こうぞ）の木々

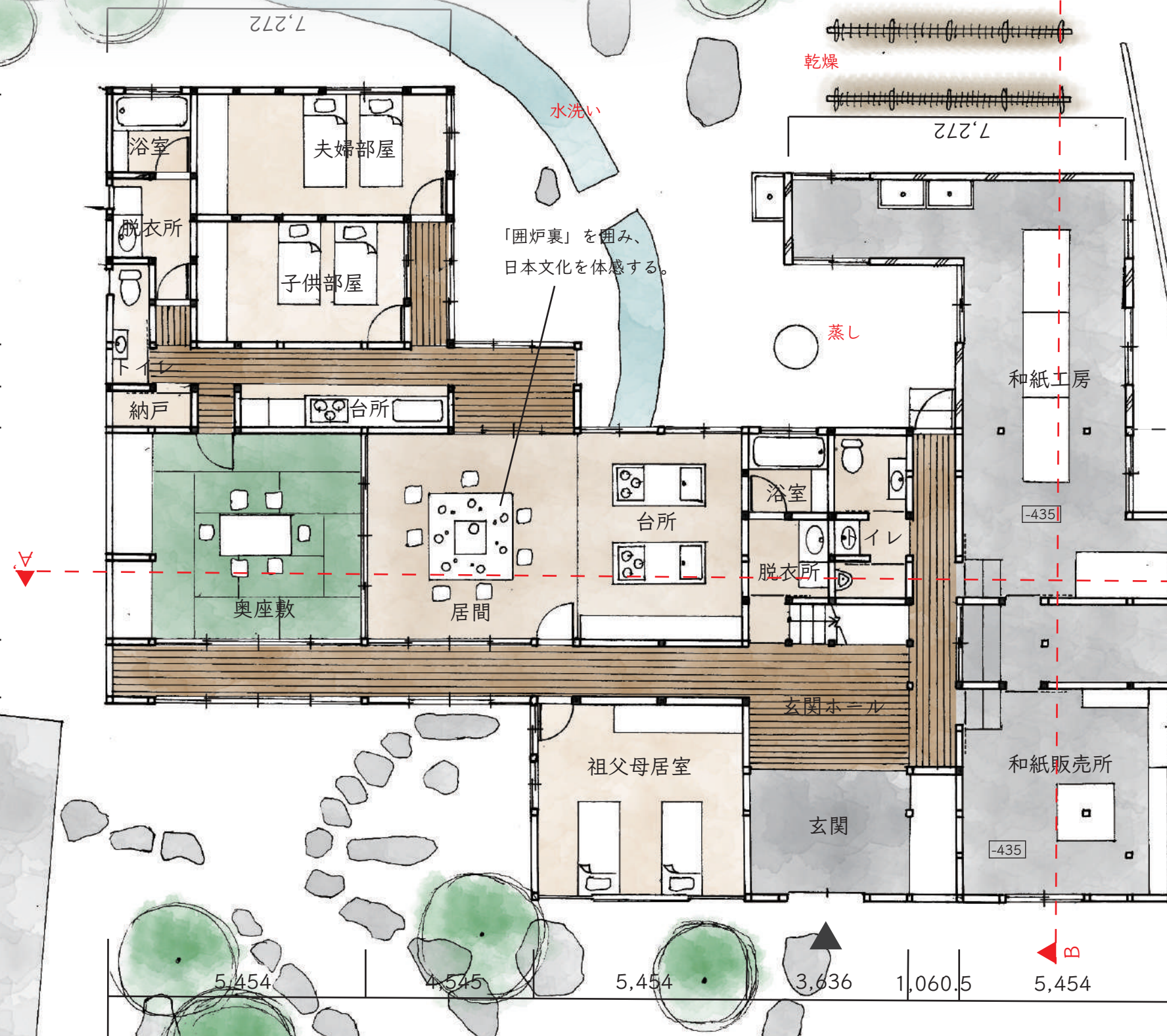
庭から広がる小さな開放

暮らしの中で、紙を活用してきた日本人は、独自の紙文化を培ってきた。

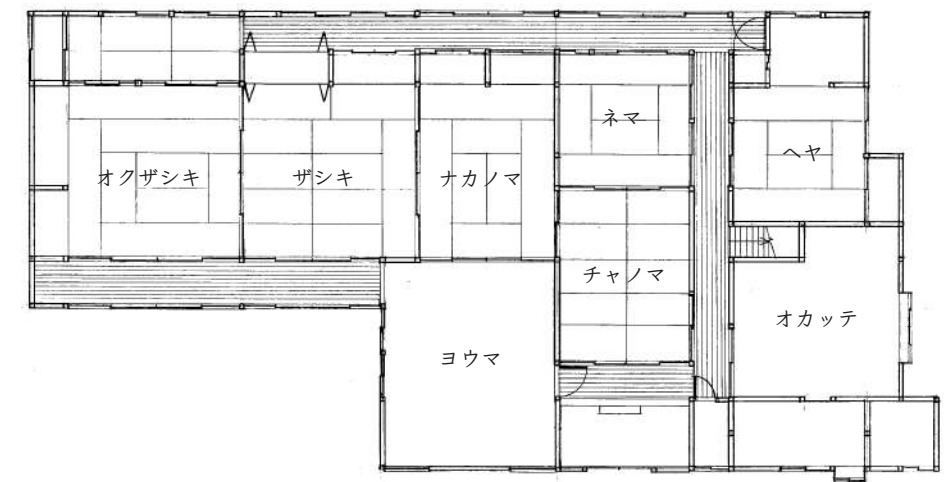
その紙と豊かな関係を築いてきた日本の文化を海外の方に、このゲストハウスを通して伝える。

また、北側に広がる庭を活かし原料の「蒸し」や「水洗い」を実際に体験することで

紙作りの工程をより深く学ぶ。

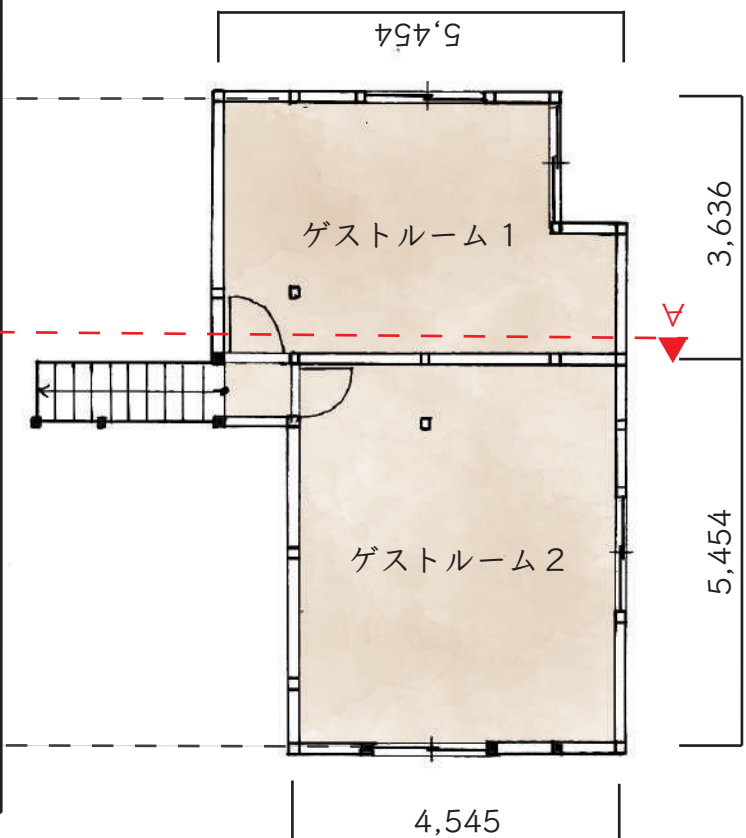


再生後 1階平面図 (S=1/100)



再生前 1階平面図 (S=1/200)

- : 既存の柱
- : 付加した柱



再生後 2階平面図 (S=1/100)

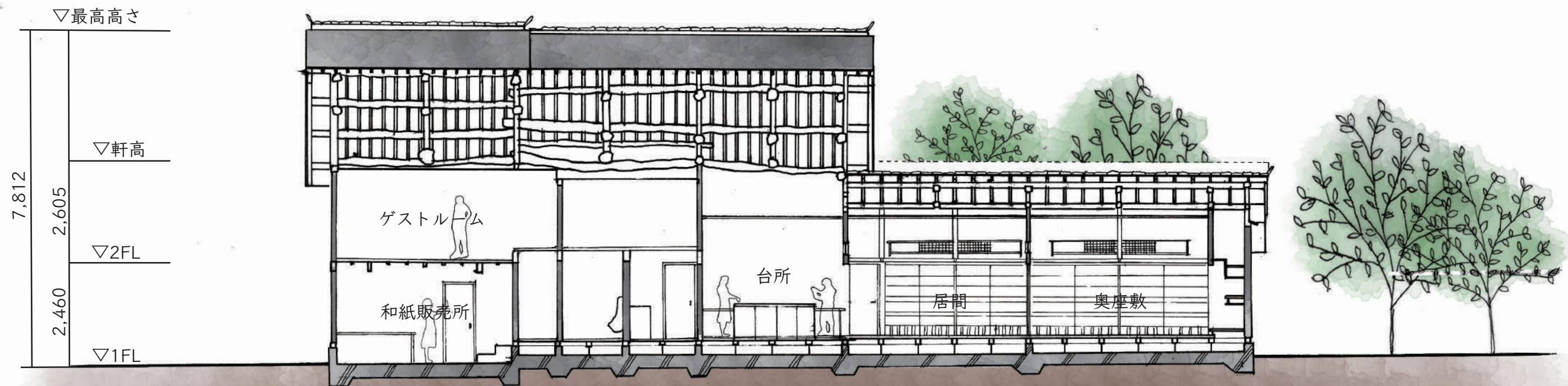
面積表

1階面積	227.74 m ²
2階面積	40.78 m ²
延床面積	268.52 m ²

北側に増築する和紙工房を
コンクリート造で付加することで
新旧を分け、工房を象徴させ、
人々の目を引く。



北立面図 (S= 1/1 0 0)



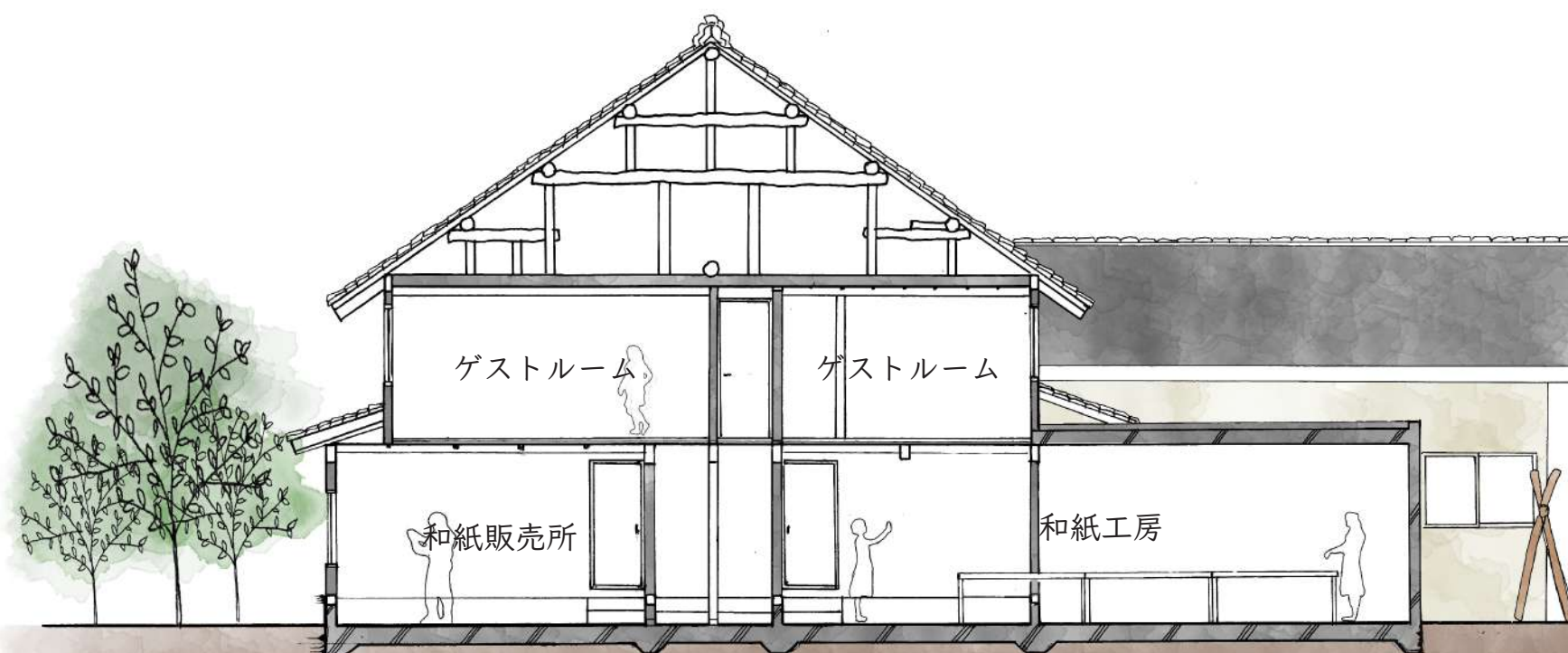
A - A' 断面図 (S=1/1 0 0)



椿（こうぞ）の木

- ・最高級の和紙を作る材料
- ・半日陰でも問題なく育つため
北庭でも十分に育つ
- ・樹高2～4mの低木であるため
北側に圧迫感を与えない

東立面図 (S=1/100)



▽最高高さ

▽軒高

▽2FL

▽1FL

2,605

2,460

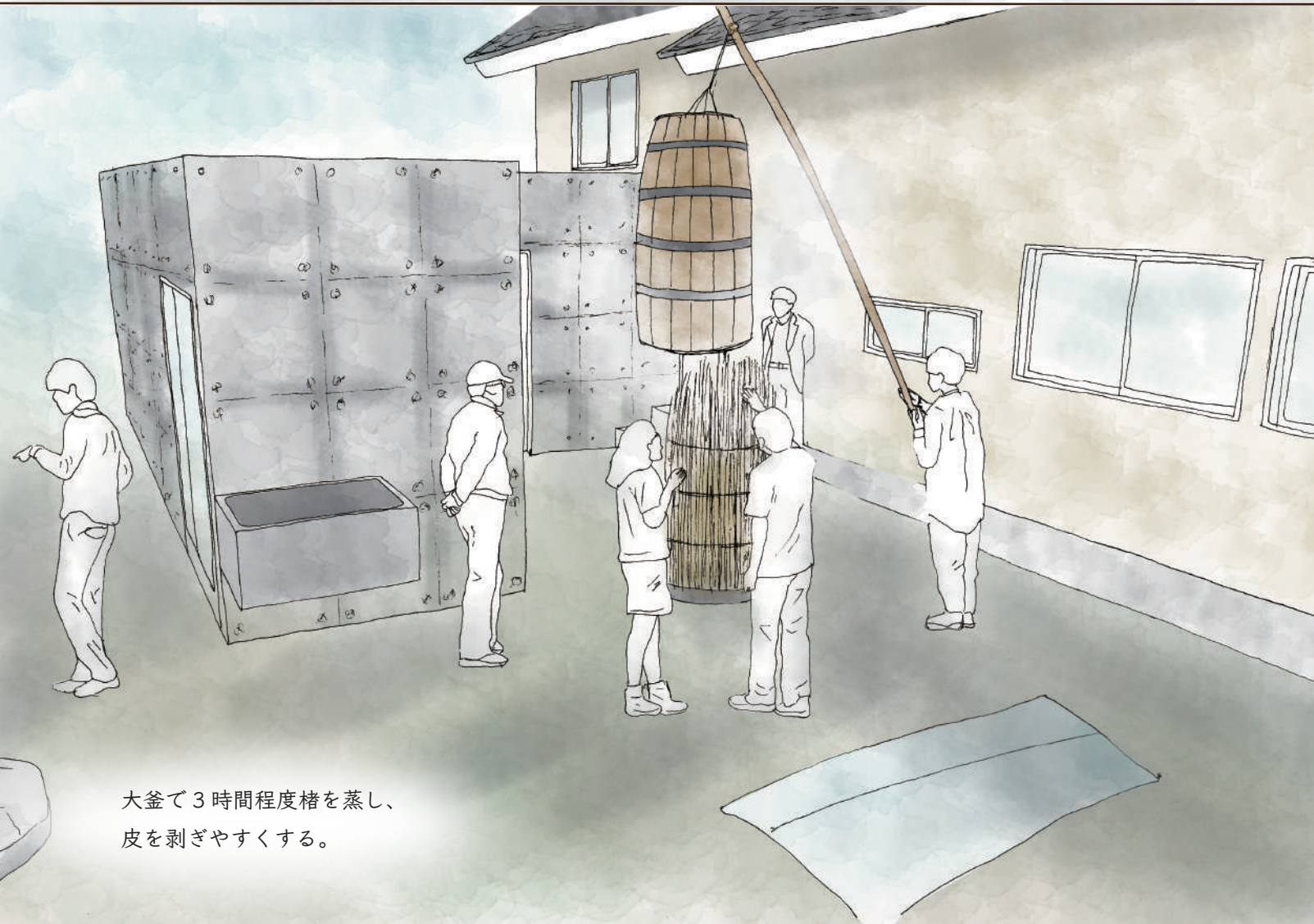
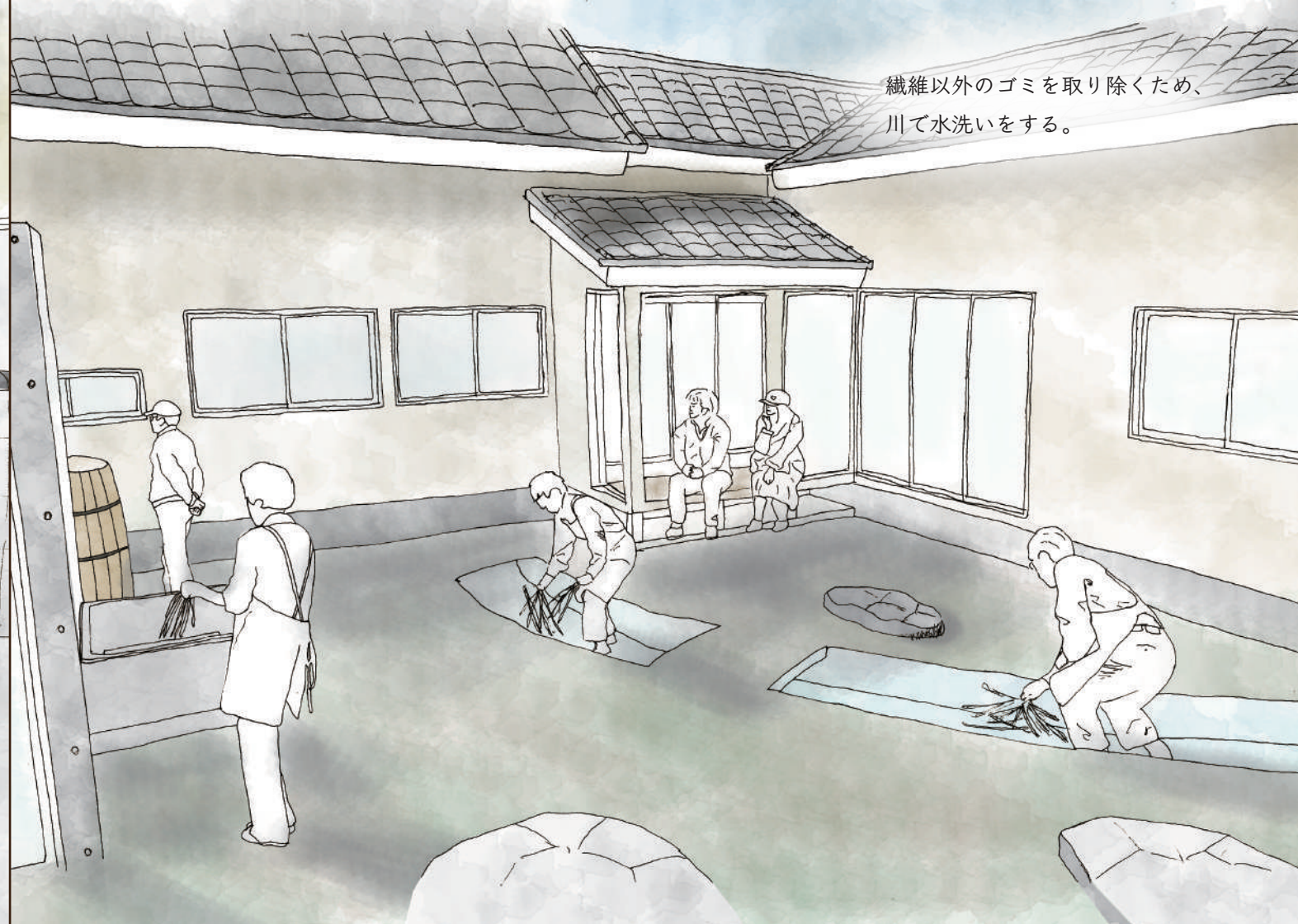
7,812

B-B' 断面図 (S=1/100)

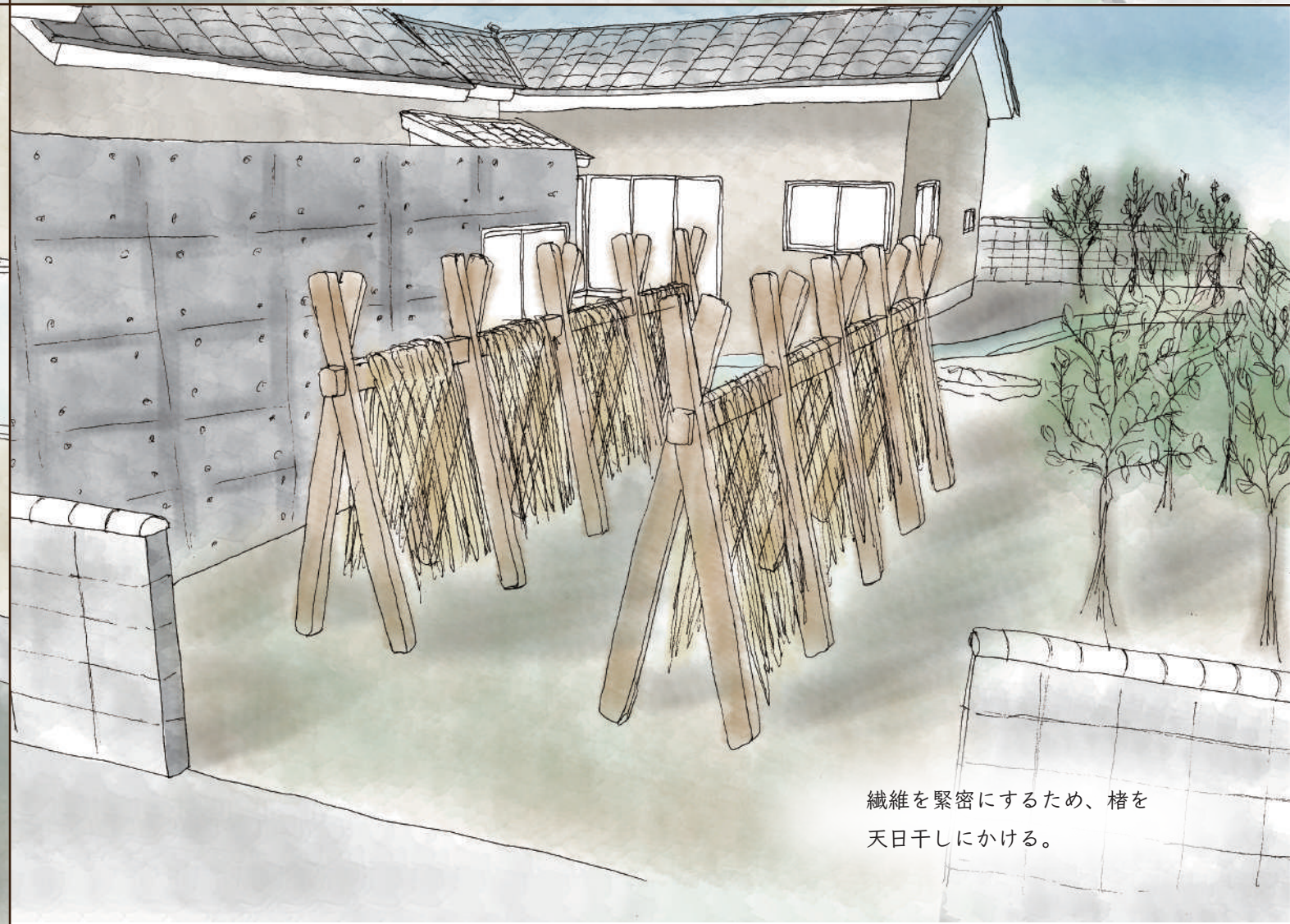
東側から土間を通り、和紙工房や
販売所へ入っていく。



繊維以外のゴミを取り除くため、
川で水洗いをする。



大釜で3時間程度楮を蒸し、
皮を剥ぎやすくする。



繊維を緊密にするため、楮を
天日干しにかけます。